

1.「おたがいさま」の応援紹介

② 素敵な“先輩”



80代、とても社交的なシズコさんは、日頃からいろんなことに興味を持って、様々な地域活動に取り組んでいます。退職後は、自宅を開放して趣味の会を開き、日々多くの方が訪れています。

しかし最近、お風呂の掃除や家の周りの手入れなどがだんだんつらくなり、『おたがいさま』に連絡してこられました。

早速コーディネーターが訪問し、シズコさんお手製のおいしいケーキをごちそうになりながら、お話を伺いました。「年をとると、どうしても誰かのお世話になりながら生活をするようになってしまうのね。」と元気がありません。『おたがいさま』を利用することになった自分の身体の衰えに寂しさを感じていること、「少しでも元気な間に自分の戦争体験を伝えておきたい」という想いなど、いろいろお話ししてくださいました。

こうして、お風呂掃除や庭のお手入れなど、シズコさんの『おたがいさま』利用が始まりました。

『おたがいさま』では、シズコさんの「戦争体験を伝えておきたい」という想いをなんとかしたいと生協に話を伝えたところ、その年の夏休みには「親子対象：戦争を語る集い」の開催が決まり、その場でシズコさんにお話をさせていただくことになりました。「戦争のことについて、改めて考えさせられました。」など、たくさんの方からもっとお話を聞きたいという声が寄せられ、この後、シズコさんは様々な場所で戦争体験を話す機会が増えていきました。

またある時、「ケーキ作りを教えてください」という依頼が『おたがいさま』に入りました。シズコさんのおいしいケーキを思い出して、「ケーキ作り」の応援者になっていただけないかお願いしてみると、「どこ

かに出かけていくことは、ちょっと大変なの。自宅に来ていただけるなら、ケーキの作り方を教えてあげられますよ！」と嬉しい返事です。こうして、少人数を自宅に迎えて、得意のケーキ作りで、シズコさんの『おたがいさま』応援者としての活動も始まりました。

「若い参加者の方々との、楽しい出会いにもなったわ！私にもまだみなさんに喜んでもらえることがあるのね！」と嬉しそうなシズコさんの声が寄せられました。



「いつまでも誰かの役に立ちたい、必要とされたい。」と思うのは、誰も同じですね。